

A 地元の幼稚園や小学校でも役員をやっており、様々な活動を通じて少しでもいい学校を作りたいという思いが元々強



【プロフィール】伊藤 一義
昭和39年11月24日生 46歳
A型 射手座
ゴルフ(うまくなりません。ストレス溜まりますが…) スポーツ全般(機敏なテニスは、見かけてはあります)
高校1年生の娘
中学1年生の娘
高見幼稚園 後援会会長4年
高見小学校 PTA会長4年
現高見中学校 副会長
坂本龍馬 なるようにしかならん!
PTA歴
尊敬する人 好きな言葉
一杯やってみようという自分の性格ともマッチした為、会長になることを決意しました。

Q 会長がP協会長になった経緯
かっただです。そんな折、P協から書記をして欲しいとの声がかかり、役員一年務めました。その後P協会長就任への要請がありました。今年北九州ブロックPTA研究大会北九州市大会(以下九P大会)がある年でもあり、どうせやるなら精

Q P協会長をして今思っていること
一杯やってみようという自分の性格ともマッチした為、会長になることを決意しました。



Q P協を取り巻く課題にどのように対応していきたいとお考えですか。
A P協として各単Pを支援するための施策を検討しています。例えば、
①初め役員をする人へPTAの運営などのアドバイスができる相談機能の充実。
②単Pが実施しようとする事

Q 現在のPTAを取り巻く課題をどのように感じられますか。
A PTA役員のみならず、手不足が深刻です。義務教育課程における学校教育は、多くの保護者や地域の人たちが様々な形で支援することが大切であり、関わりあう大人の数が多ければ多い方が子どもたちに良い教育環境を作ると考えています。しかし実際は協力ができず、現状の方が少なくなっているのが現実です。
また予算的な問題も抱えており、現在P協が考えている様々な新規事業(例えばはらこづの森公園などのタイアップ事業等)についても実行が困難な状況となっています。他都市においては既に様々な事業を推進を進めており、それにより教育や地域へ貢献しています。(資料参照)

Q 最後に、来年度の九P研究大会北九州市大会について。
A 年に一度、九州の各県から約1万人近い会員の方が集まってくる勉強会にあたる分科会や講師の方を招いた記念講演などを行う九州ブロックPTA研究大会が今年10月22日(土)、23日(日)に北九州で開催さ

意見募集
今回のP協会長のインタビューに掲載したP協のあり方に関する意見募集をしています。(メール・FAXで自由にご意見をお寄せください)
北九州市PTA協議会ホームページアドレス kitakyupta.jp
メール:kitapta1@future.ocn.ne.jp
FAX:093-581-9198

平成23年度(社)日本PTA 第56回九州ブロックPTA研究大会 北九州市大会

シンボルマーク決定

九P研究大会北九州市大会の概要決定

■日時:[1日]10月22日(土) [2日]10月23日(日)
■大会スローガン — 心をつなげよう!「夢、希望、そして未来へ」—
■分科会会場:10月22日(土)

第1分科会	芸術劇場大ホール	第6分科会	門司市民会館
第2分科会	八幡市民会館	第7分科会	国際会議場
第3分科会	ウェルとばた	第8分科会	西日本総合展示場
第4分科会	西日本総合展示場	第9分科会	芸術劇場中ホール
第5分科会	リーガロイヤルホテル	特別分科会	北九州ソレイユホール

■全体会:10月23日(日) 西日本総合展示場新館

PTA活動の支援による 子育て日本を目指して

Q 北九州市は「子育て日本」を目標に、教育に取り組んでいます。しかし基本は単体PTA(以下「単P」)であり、単Pの活動が活性化することが重要とのこと。我々PTA協議会以下「P協」も新たな志で、必要とされる協議会に生まれ変わります。
P協は「子どもたちの笑顔溢れる北九州を」という改革案を作成いたしました。改革の中心は組織改革、会費の値上げ。値上げは現在の40円から180円を目標に考えています。値上げにより、学校の応援体制の充実や、この街に住み続けたいと思ってもらえるような新規事業(企業との共催事業やエアン導入の要請、講演会の開催など)を検討しています。
PTAを取り巻く環境は変化してきましたが、子ども達にはPTA行事を通じて友達作りや、授業では経験できないものを経験してもらいたいし、保護者の方々に子ども達と関わられる貴重な時間を大切にしたいと思っています。

資料【各都市の会費】

	北九州市	福岡市	横浜市	札幌市
会費(年)	40円	300円	56円	230円
会員数	77,000名	99,000名	270,000名	125,000名
予算規模	900万円	3,600万円	2,600万円	6,500万円
主な事業	PTA会員への支援 各種研修 教育委員会への各種要望 PTA活動の広報 新聞発行	同左	同左	同左
本市区色	家庭教育充実の為に単体PTA、連合で進める事業の補助支援	山下公園ファミリー写生大会(企業とのタイアップ事業)	警察や民間事業者との交通安全、防犯協定 親子ふれあい事業(市より補助金 80万円×10区)	

行事予定

1月11日(火) 第7回役員会・理事会
2月 7日(月) 第8回役員会・理事会
2月13日(日) 小学生親睦駅伝大会
2月18日(金) 教育懇談会[予定]

北九州市PTA安全互助会 小中学生総合保障制度事務局

〒802-0004 小倉北区鍛冶町1-10-10 大同生命ビル10F
TEL 093-511-3821 (引受保険会社AUI保険会社北九州支店)



シリーズ 環境について考えよう!

北九州市は、現在、公害を克服し、環境を再生した環境先進都市として国内外から評価されています。来年、本市で開催される九州ブロックPTA研究大会でも環境をテーマにした特別分科会を計画中です。そこで、P協新聞としては、シリーズで、子どもたちに関する様々な環境学習の取り組みについて取り上げていきたいと思っています。今回は、子どもたちへの環境啓発に向けての冊子についてご紹介します。

子どもが記入できる「ノート型」ワークブック
北九州市では、昭和47年から独自「環境教育副読本」を作成し、永年小・中学校で活用していましたが、今年度から「これまでの学校控え置き」の資料型から子ども自身の思い等も記入できる全児童配布型

環境問題は身近な問題
温暖化などの環境問題は、日々の生活の中で、とすると緑の多い問題と捉えがちです。しかし、未来を生きる子どもたちのために私たち大人がしっかりと考える必要はあります。問題でもありません。そのための「この「みどりのノート」を通して、保護者の皆さんもぜひご家庭で子どもたちと一緒に環境問題について考えていきたいと思います。

楽しみながら環境を学べるカードゲーム「エコとり物語」を作りました!!
このたび、環境学習課では、楽しみながら北九州市の環境について学んでもらうため、環境カードゲーム「エコとり物語」を作りました。このゲームは、「冷蔵庫は3秒で閉める」などエコな行動を掲載した「エコカード」と、「首根干涸」「風力発電」など本市の環境になじみのある写真やイラストを掲載した「エネルギー」「リサイクル」「環境学習施設」「自然」「水辺のいきもの」の5種類の手持ちカードを使って遊びます。子どもから大人まで幅広い年代の方が遊びながら本市の環境の特長を知ることが出来る便利なものです。
「エコとり物語」は3,000セット作成し、市内の小中学校をはじめ、市民センターや環境関連施設などに配置する予定です。来年3月には環境ミュージアムで大会も開催します。「エコとり物語」でぜひ一度遊んでみてください。

中にはこんな物が入っています

- ①ルールブック(1冊) エコとり物語の遊び方、楽しみ方が分かるルールブック
- ②エコカード(15枚) 1~10の数字とエコな取り組みが掲載されたカード
- ③手持ちカード(75枚) 1~15の数字と市内の環境にかかわりのある施設の写真などが掲載されたカード
- ④環境説明書(1冊) 手持ちカードに掲載されている施設などを紹介した環境説明書

平成22年度P協新聞 モニター決定

北九P協新聞のモニターが決定しました。小中学校、特別支援学校の40校から選ばれたPTAの皆さん(別表)から、今後の紙面づくりの参考に、するため、来年の7月までの間に3回見をいただきます。よろしくお願いいたします。

区	単P名	氏名
小倉東	江上	上之原 美子
小倉西	大里	柳 安達 浩一
小倉北	松本	北田 容子
小倉南	足立	北 啓子
小倉東	小倉	山本 美香
小倉西	北	山本 健介
小倉南	日	山本 真由美
小倉東	長	志 井 隆
小倉西	高	守 恒 尚
小倉南	若	赤 須 加 藤
小倉東	高	古 藤 祥子
小倉西	大	八 大 八 藤 生 蓮
小倉南	大	八 大 八 藤 生 蓮
小倉東	戸	畑 山 安 藤 誠
小倉西	戸	畑 山 安 藤 誠
小倉南	戸	畑 山 安 藤 誠
小倉東	戸	畑 山 安 藤 誠
小倉西	戸	畑 山 安 藤 誠
小倉南	戸	畑 山 安 藤 誠



環境教育ワークブック「みどりのノート」
北九州市では、次世代を担う子どもたちが環境についての興味・関心を持ち、自ら環境に対する正しい知識を身につけることにも、感受性を育んでいくことを願って、環境教育ワークブック「みどりのノート」を作成し、市内小中学校の全児童に配布しています。
この「みどりのノート」は、小中学校の先生が執筆し、北九州市の公害克服や資源循環、新エネルギーなどの事例を多く取り上げて環境問題とその取り組みを理解できるように工夫されています。
低学年、中学年、高学年と3段階に分け(写真①)、それぞれ各教科、生活科、総合的な学習の時間等で幅広く活用することが出来ます。児童が自分で記入する欄を多く設け、マイノートの色合を高めました。市内の小中学校ではもちろん、県外からの修学旅行の事前学習資料としても活用されています。

CO2が削減できます!
「5年生6年生 みどりのノート」には、1人1日1kgのCO2削減を目指したチェックシートを掲載しており(写真②)、子どもたちがそれを実践することで、かなりの削減が達成できると考えています。

各校の話題募集!
今年度から北九P協新聞では、各校の話題や取り組みなどの情報を広く募集します。PTAや学校の行事などでPRしたいものがあればぜひ情報を提供してください。例えば、各校のPTA新聞に掲載したときの原稿や写真、または事業概要やPRしたい点などが記載されている資料を構いません。もちろん、各校で作成した原稿800字程度を送っていただくと助かります。ご応募いただいた資料を基に、協賛編集委員(委託事業者)が原稿を作成し、各校に内容の確認や校正をお願いする予定です。できる限り掲載する予定ですが、紙面の都合により、掲載できない場合もあります。

発行方法
PRしたい事業の資料や写真または原稿、連絡先をP協事務局まで郵送してください。
〒803-0081
北九州市小倉北区大門二丁目6番43号 北九州市立生涯学習センター2階
北九州市PTA協議会P協新聞編集部

information_no.1



カヌー体験 白野江小学校(門司区) [生徒数157名]

問い合わせ先:白野江小学校 TEL093-341-8021

白野江小学校は、明治12年に開校して、現在132年の歴史を誇る学校です。この学校の校区は、門司区の最北端の海岸沿いに位置し、目の前には周防灘、裏手には小高い茶山等があり、自然環境に恵まれた地域であり、教育環境にとっても適しています。平成22年度より白野江小学校では、特色ある学校づくりの一環として、総合的な学習の時間において白野江の自然を生かしたカヌー体験学習を実施しています。6年生を中心に自然とのふれ合いを深めたり、友だちとの協調性を養ったり、さらには体を動かすことの楽しさを味わったりしています。カヌー体験に際しては白野江小PTAよりカヌー2艇を購入し、学校のプールで練習を重ねました。様々な面でPTAと学校との協力体制が図られています。また、白野江海岸の清掃活動をしたり、海洋生物の捕獲、飼育・観

察等をしたりしながら、自分たちの身近な環境について学習をしています。11月4日、門司少年自然の家の前海にて、プールでの練習の成果を試すために、カヌー体験を行いました。取材中も穏やかだった海に突然の大波が発生しカヌーが転覆したりずぶぬれになったり…自然の怖さも感じたようでしたが、そんな体験を通して自分の命を守ることやチームワークなども育まれていくのかもしれない。後々は白野江小学校区でカヌーに乗り、自然や海の中の水中生物の観察や水質調査などが出来るようになることが目標だそうです。11月の冷たい海水にも臆することなく、元気に走り回りのびのびと楽しむ自然いっぱいの白野江小学校の子供たちがうらやましく感じました。

● 各校PTA・学校の話 ●

information_no.2

三世代校区ふれあい清掃 志徳中学校(小倉南区) [生徒数772人]

問い合わせ先:TEL093-962-2481

平成22年10月4日、志徳中学校区では、校区内の小中学生と地域の大人たちの総勢1,500人が一緒になって清掃活動を行う三世代ふれあい清掃が実施されました。この行事は、志徳中学校の一年生から三年生までの全学年の生徒と企救小学校・志井小学校の六年生の児童及び地域の大人たちが清掃活動を通して、子どもたちのボランティア精神の育成や地域への愛着、ならびに三世代のふれあいを高めるものとして、平成20年から取り組まれています。清掃当日は、中学生がそれぞれの出身小学校に集合し、そこで自分が住んでいる町内の小学生と町内会の大人と合流の上、自分が住んでいる町内の清掃活動を行うとともに、清掃後は、小中学生と地域の大人たちがお茶を飲みながら学校のことや清掃活動のことなど気兼ねなく懇談するなど、日ごろ会話の少ない世代間の交流を深め、地域の連帯感を育てています。志徳中学校では、この清掃活動以外にも、春の桜が開花する時期に、校区内の桜並木に中学生の夢

や希望を書いた絵馬を掲示し、子どもたちの成長を地域で見守ってもらうイベントとして、志井川さくら祈願にも取り組んでいます。名越PTA会長の話「学校は、地域の多くの皆さんによって支えられています。三世代ふれあい清掃や志井川さくら祈願などで、あらためて地域の教育力がいかに大切か感じています。これからも、PTAとして地域と一体となった活動を続けていきたいと思っています」。



information_no.3



おいしく、楽しく、安全に食事をするために。 僕たちの、私たちの給食

問い合わせ先:北九州市立北九州特別支援学校 TEL093-921-0075 北九州市立八幡西特別支援学校 TEL093-612-2210

北九州特別支援学校(小倉南区)と八幡西特別支援学校(八幡西区)の2つの肢体不自由特別支援学校で7年前から実施されているもうひとつの学校給食、「別調理」による段階食が、今注目を集めています。食べる機能に障害のある児童生徒にとって、むせや誤嚥(ごえん)、窒息といった危険が伴う給食指導には、安全を優先した食事内容と指導が求められます。それが、「別調理」による段階食です。一般的に、普通の食事が食べにくい場合は、小さくきざめば、食べやすくなると思いがちですが、実際は意外と危険です。さらに知られていないのが、水分(お茶、ジュース等)も、場合によってはそのまま摂取すると誤嚥(ごえん)の原因になりやすいということです。こうしたことは、高齢者や病気の方にも起こりうるのですが、「別調理」による段階食を実施しているところは病院関係

でも多くはないと思いますし、教育現場では全国的にも非常に少ないです。「別調理」による段階食では、保護者、栄養士、先生などが児童生徒の実態を話し合った結果を活かして、5段階のレシピが作られます。各段階では、最初から普通食とは別に、圧力鍋やコンベックなどを使って、食材はゼリー状、ムース・ペースト状、ピューレ状などに調理されます。メニューによっては、調理に適した食材選びから行われることで、とてもおいしく、楽しく給食が提供されます。またお茶などの水分もゼリー状にするなど、知れば知るほど感心することはばかりです。これは、栄養士、調理員、先生、保護者をはじめ、児童生徒に関わるすべての方々の思いとやさしさと願いがひとつになった食育だと思いましたが、



私は
在スーダン医師

スーダンに教えてもらったことを 日本の子供たちへ



いんたびゅう
北九州出身の先輩に聞く

医師川原尚行さん

【プロフィール】
1965年 (S40) 北九州生まれ
高槻小、椋田中、小倉高校、九大医学部出身
1998年 外務省入省、タンザニア大使館着任
2002年 スーダン大使館着任
2005年 外務省辞職、スーダンにて医療活動開始
2006年 NPO法人ロシナンテス設立

外務省医務官時代



私も私がおスーダンにおいて医師として働き出したのは2002年、外務省の医務官として在スーダン日本大使館に着任し、大使館職員や在留日本人だけを対象とした医療を命じられたことに始まります。大使館を歩出ると、周りは満足な医療を受けられぬ人々が大半でした。しかし、医療官としての身分では現地の人々に医療行為

を施すことは禁じられています。スーダンには医療を求めた人がいる。どうすれば彼らの治療が行えるのか? 私は外務省を辞め、介介の民間医師としてスーダンへの医療活動を行う道を選びました。

支えてくれた仲間たちと家族

これら様々なスーダン支援活動は、私が理事を務める「NPO法人ロシナンテス」という組織で行っています。2006年に出身校である小倉高校や九州大学医学部の先輩・後輩の支援のもとで立ち上がった団体です。外務省を飛び出し、裸身を現地に残り、医療行為を続けるという無銭完走挑戦を全身全霊で支えてくれた仲間たちです。高校のラグビー部の後輩がNPO法人事務局長を引き受けてく

れ、北九州がロシナンテスの活動拠点となっています。また、北九州に残した妻と3人の子供たちも私の活動を理解し、応援してくれる力強いサポーターです。国家公務員からいきなり無職となり、遠いアフリカで働く道を選んだ時、妻もさぞ驚いたでしょう。しかし、私に決断を受け入れてくれた支えてくれたことには感謝しきれないほどです。子供たちも成長著しく多感な時期を父親不在のままにしてしまいましたが、逆にその分、家族の大切さと責任感を培ってくれたように思います。

日本の未来のために



NPO法人ロシナンテスのHP (活動の詳細、支援のお問い合わせ、研修生の募集など)
<http://www.rocinantes.org>

平成22年度(社)日本PTA 第55回九州ブロックPTA研究大会 熊本県大会

平成22年10月30日・31日、熊本県で第55回九州ブロックPTA研究大会が開催された。本市からは、大会1日目において、第1分科会(組織運営)熊本市総合体育館で曾根東小学校(畑中美穂PTA会長・児童数407人)が「種を蒔く人」～人を育むつながり創りのために～、第3分科会(学習活動)グランメッセ熊本で足立中学校(大園直樹父母教師会会長・生徒数355人)が「コミュニケーション能力を高めるPTA活動」というテーマで発表した。また、分科会・全大会を通して、本市から参加した各校PTAの代表から編成されたキャラバン隊が、平成23年度北九州大会の「心をつなげよう!夢・希望・そして未来へ」の大会スローガンのもと、イメージDVDやテーマソングによるPR活動を行った。

information_no.1

曾根東小学校(第1分科会・組織運営)

PTAの組織運営に関する取り組みとして、PTA組織の役員会と常置委員会以外の委員会活動を助ける「行事サポーター」と、会員各自の関心に沿って自主参加できる「助っタース」・「おはなしたからはこ」・「エンジョイスクール」などのボランティア活動について発表を行った。特に、特色があるのは、PTA会員全員の参加をめざして「行事サポーター」の制度をとっているという点である。
①行事サポーター制
行事サポーター制は、「一人でも多くの会員にPTA活動に携わってもらいたい」との思いで、平成16年度から実施している。学級学年・保健・広報・成人権・地域安全の5つの常置委員会の活動を助けるシステムで、原則として、委員会の委員にならなかった会員全員を対象として募集を行っている。平成22年度は延べ242人が登録している。行事サポーターの主な活動状況としては、
②保健委員会:101人が登録。
・春の運動会前と秋の除草作業
・運動会でのトイレ掃除
・マラソン大会での豚汁作り
③地域安全委員会:141人が登録。
・運動会の警備(自転車整理・会場および車両整備)、片付け
・マラソン大会でのポイント立ちとなっている。

information_no.2

足立中学校(第3分科会・学習活動)

年々所有率が高くなるとともに、様々なトラブルや犯罪に巻き込まれるケースが増加している中学生の携帯電話やインターネット利用について、あらためてネット社会の現状と子どもたちのコミュニケーション能力向上のためにPTAが取り組んでいく今後の方向性などについて発表を行った。
①生徒の携帯電話・PC所有の現状
2010年暮れに内閣府がとりまとめた「青少年のインターネット利用環境実態報告書」によると小・中学生における携帯電話の所有率や携帯・インターネットの利用率が低下傾向にあるらしいことがわかったという。そんな中で、同校では2010年6月に保護者を対象に緊急アンケートを採り、調査した。
②携帯電話の所有率
内閣府の報告によると中学生の保有率は46.8%となっているのでほぼ全国平均並みといえる。
③携帯電話と子どものコミュニケーション能力について
子どもたちと携帯電話の関係について考えるとき、メールや掲示板の利用と通話とは切り離して考える必要があるとのPTAとしての意見を述べている。
④メールについて
本校では学校への持ち込みの禁止が徹底されているので特に問題はないが、時と場所をわきまさえすれば、親子間でメールを取り寄せることによって却って意思の疎通が活発になると言うこともある。顔が見えない状況でのやりとりは相手の細かい気持ちや表情が伝わってこない。また、こちらの意図することが相手にきちんと伝わらずトラブルとなり、学校まで持ち込まれるケースが報告されている。マナーやモラルの指導が必要である。
⑤電話としての利用について
携帯など存在しなかった時代には、友人に電話しようと思えばそれは相手の「家」に対してであり、「親が出たらどうしよう」などある意味緊張感を伴うことであった。それが携帯の普及により個人対個人になり、大人とのやり取りが容易い。このことは多少なりとも子どものコミュニケーション能力の発達に影響を与えていると思う。また、保護者の立場からすると、携帯同士でやり取りされてしまうと我が子の友人関係が見えてこなくなってしまうという問題もある。
⑥PTAとしてどのように取り組んでいくのか
これまで、携帯電話やPCのサイトの危険性等についての専門家による警鐘という形で市の市や区との研修会等は行われている。しかし、一部の役員・理事が参加するだけで、個々のPTA会員に研修の成果が浸透しているか疑問であった。また、危険性というマイナス面ばかりが取り沙汰されている感もある。犯罪や事件に巻き込まれないようにするために危険性を学ぶことも大切である。ただその結果として「持たせないこと」が一番良いことになってしまっているのが現状である。すでに携帯電話やPCを使用している子供達が現実的にいよいよ、保護者や学校がきちんと目を向けなければ子供達は使いこなす能力のないまま携帯やPCを使い続けることになってしまう。マイナス面ばかり強調するのはなくプラスの面を伸ばす取り組みが必要ではないかと考える。例えば「友達からもらった・勧められたメールコンテスト」あるいは「親からもらった嬉しいメールコンテスト」といった携帯電話の利点を生かした取り組みをPTAとして行ってきたいというアイデアを発表した。